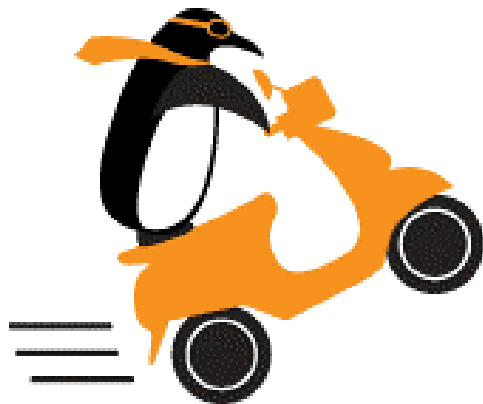


23期2Q決算説明会

ACCESS' Innovative Technology and Strategy



2006-09-15

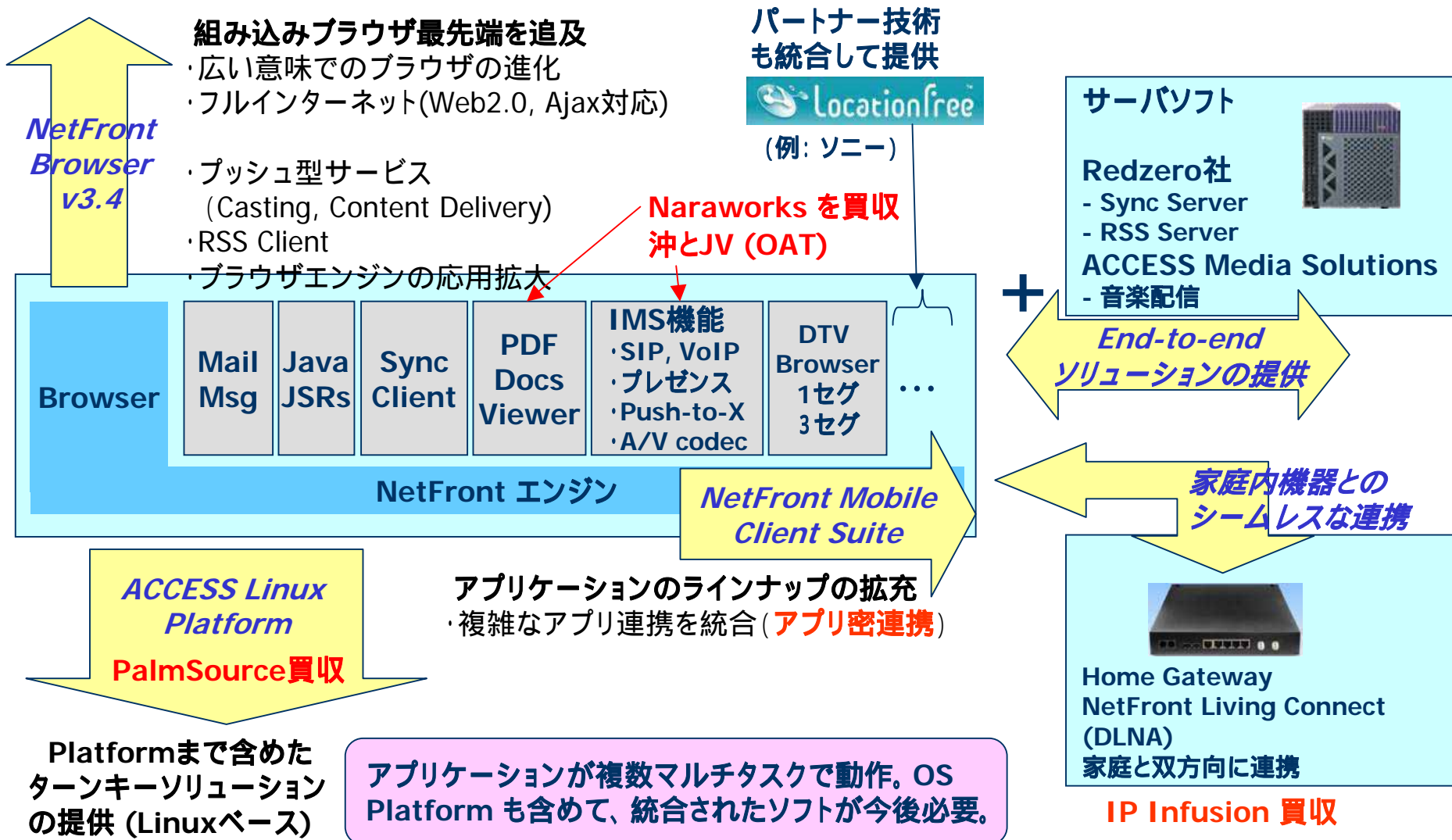
ACCESS Co., Ltd.

Co-Founder and CTO

Dr. Tomihisa Kamada

ACCESS の今後の展開

今後、端末に要求される機能・仕組みを先取りし、トータルソリューションを提供。さらに通信事業者向けに、新しいサービスを開始するために必要なソリューションを提供していく。



- (1) オペレータとの強い協力関係
 - 世界の top operator と先進サービスを推進。
- (2) すでにライセンス関係にある顧客ベース(30社以上の携帯電話メーカー)
 - 包括 SAMSUNG, SONY Ericsson
 - 大手ベンダ Nokia, Motorola, LG
 - 日本ベンダの海外進出をお手伝い(NEC, Sanyo, Sharp, ...)
 - 今後重要な中国ベンダ多数にすでにライセンス (Amoi, ZTE, Haier, ...)
- (3) 標準化に積極的に活動
 - これまでの W3C, OMA に加えて、
 - Linux 関連で、高い認知度。
 - OSDL MLI の Steering committee chair
 - LiPS の Founding member
 - Open Source にもモジュール提供して貢献。
- (4) Global レベルでの強力なエンジニアリング体制
 - 1,000人以上の体制 (オペレータ、メーカーの近くで協業)
- (5) 通信事業者向けの「エンド・ツー・エンド」ソリューションも提供開始
- (6) 携帯 + ホームの幅広い取り組み

これまでの着実な製品化、新技術の投入、市場開拓、タイミングを逃さない戦略で、事業を継続的に拡大中。

・Application Suite 戦略

- ブラウザ、メッセージ、Java をセットで提供。
- 例: FOMA三洋, Nokia, NEC, LG, ...
- コンポーネント専門ベンダは、今後は難しいであろう。

・ワンセグ好調

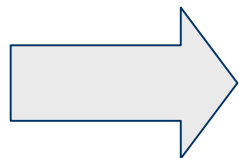
- 仕様策定から参画。ワンセグブラウザ独占状態。

・SyncML (端末のアドレス帳などをサーバに保存、差分だけ同期をとる技術)

- ナンバーポータビリティのタイミングで各社が採用。サーバも提供。

・NetFront Living Connect (DLNA – AV家電連携)

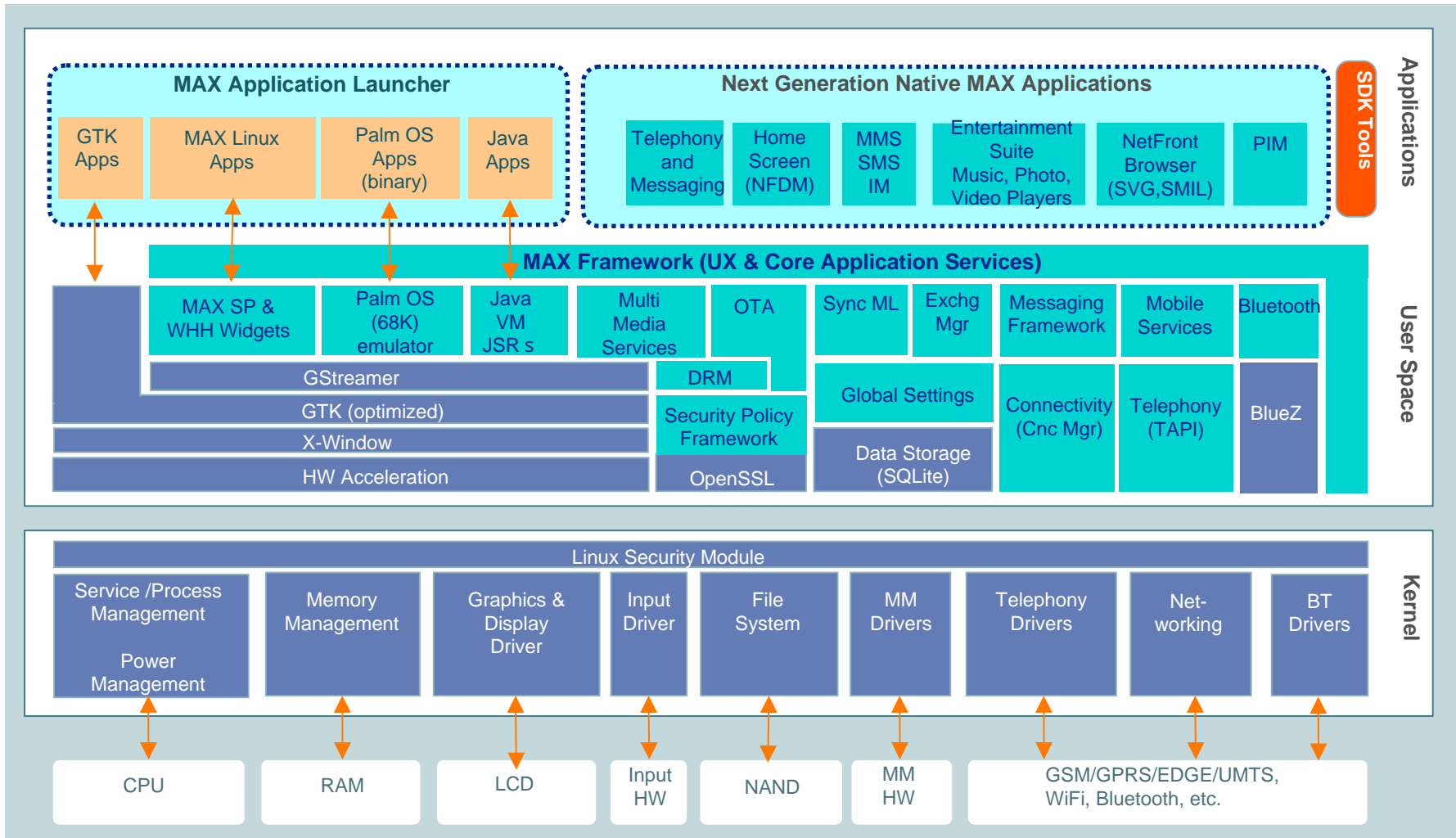
- 引き合い多数。今後期待大。



さらに、Linux をベースとした Platform 戦略

ACCESS Linux Platform (ALP) とは ...

Linux をベースとして、携帯電話に必要なソフトウェア一式をすべて統合した Platform。3rd Party に SDK を提供して、アプリ開発も促進する。これほどすべて統合された Linux Platform は、世界初。

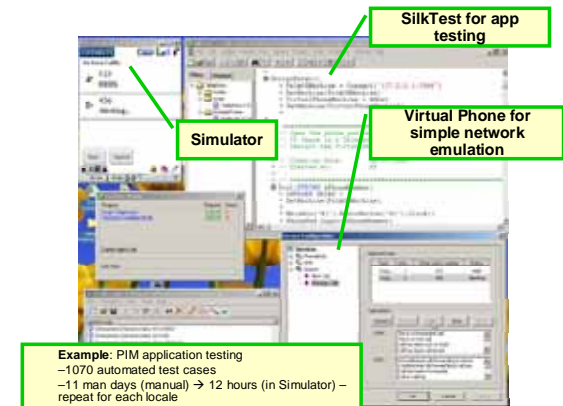


すでに、Linux ベースの携帯電話は、FOMA (NEC, Panasonic), Motorola などから出荷されている。

・これらの Linux Phone は、OS として Linux を使っているだけ。
Linux が携帯電話でも使えることは、かなり実証された。

・ALP は、携帯アプリの Platform を提供する。

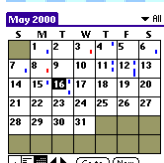
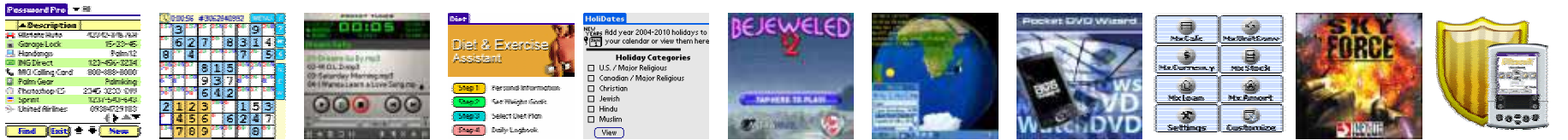
- APIを規定し、3rd party 向けの SDK を配布。
- 自社でアプリケーションを開発するだけでなく、アプリケーション開発者をサポートする。
- **ACCESS Developer Network** を発表
PalmOS のアプリ開発者(42万人以上)を含め、ALP 向けのソフトウェア開発を支援していく。



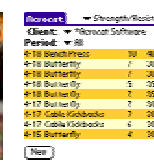
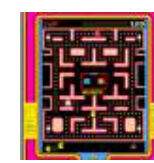
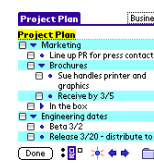
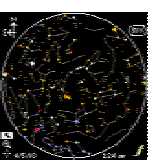
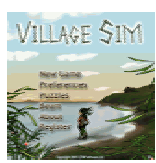
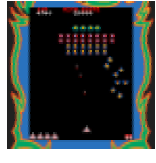
Eclipse ベースのツールなど



*PalmSource
Developer
Day*



- ◆ ACCESS Linux Platform の1つの利点は、PalmOSアプリケーションがそのまま binary で動く環境(PalmOSエミュレータ)を用意している点である。現在、存在する 2万個以上のアプリケーション資産を継承できる。
- ◆ また、ALP native の Linux アプリケーションと PalmOS アプリケーションを統一的に扱えるように、インストールやランチャーで工夫されている。
- ◆ これにより、多くの Palm 開発者や Linux 開発者に、エントリーバリアを低くし、アプリケーションを開発しやすくする。
- ◆ Java アプリケーション環境も統合されているので、Java アプリも、もちろん実行できる。



携帯電話の機能が複雑化して、今後ますます使い勝手、ユーザインタフェースが重要になる。PalmSource のデザインノウハウを活用。

Background の指定

... ブランディングにも使える。



UI Theming

... テーマを選択可能にする。
... カスタマイズが可能。

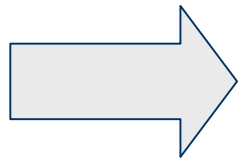


Linux Kernel はオープンソースで公開されていて、GTK や GStreamer などオープンソースのコンポーネントもいろいろある。この自由度、拡張性、オープン性が、強み。

しかし、逆に、この自由度と裏腹に、API の標準化などが整備されていない。したがって、自由度と標準化のバランスが必要。

- ・OSDL ... Open Source のシンボリック的団体。Linux カーネル、Mobile向けも発足。
- ・LiPS ... France Telecom, TIM, ... など参加。Platform API の策定。
- ・CELF ... Consumer Linux
- ・6社連合 (DoCoMo, Vodafone, NEC, Panasonic, Samsung, Motorola)

アプローチの違いはあるもののゴールは同じ。

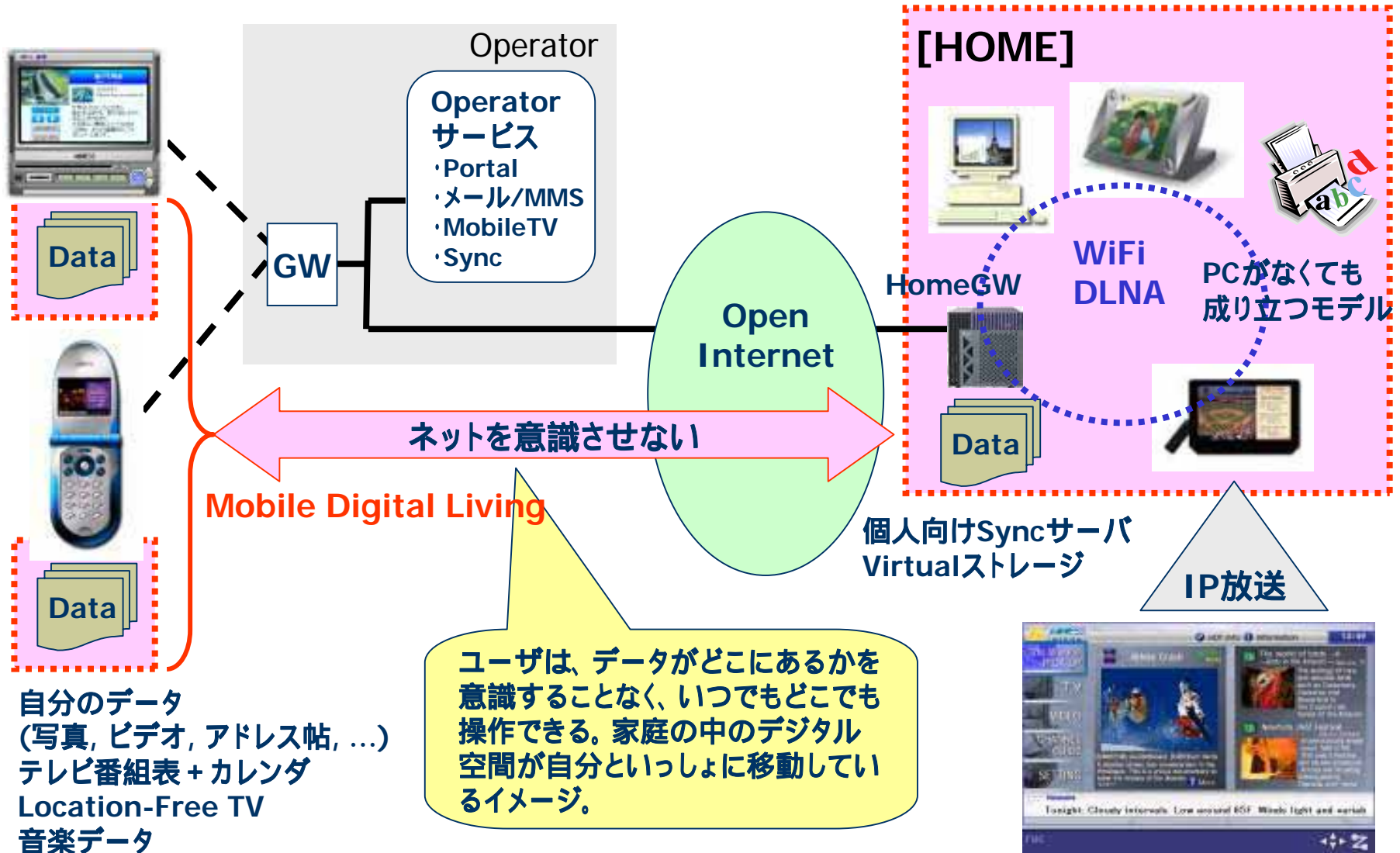


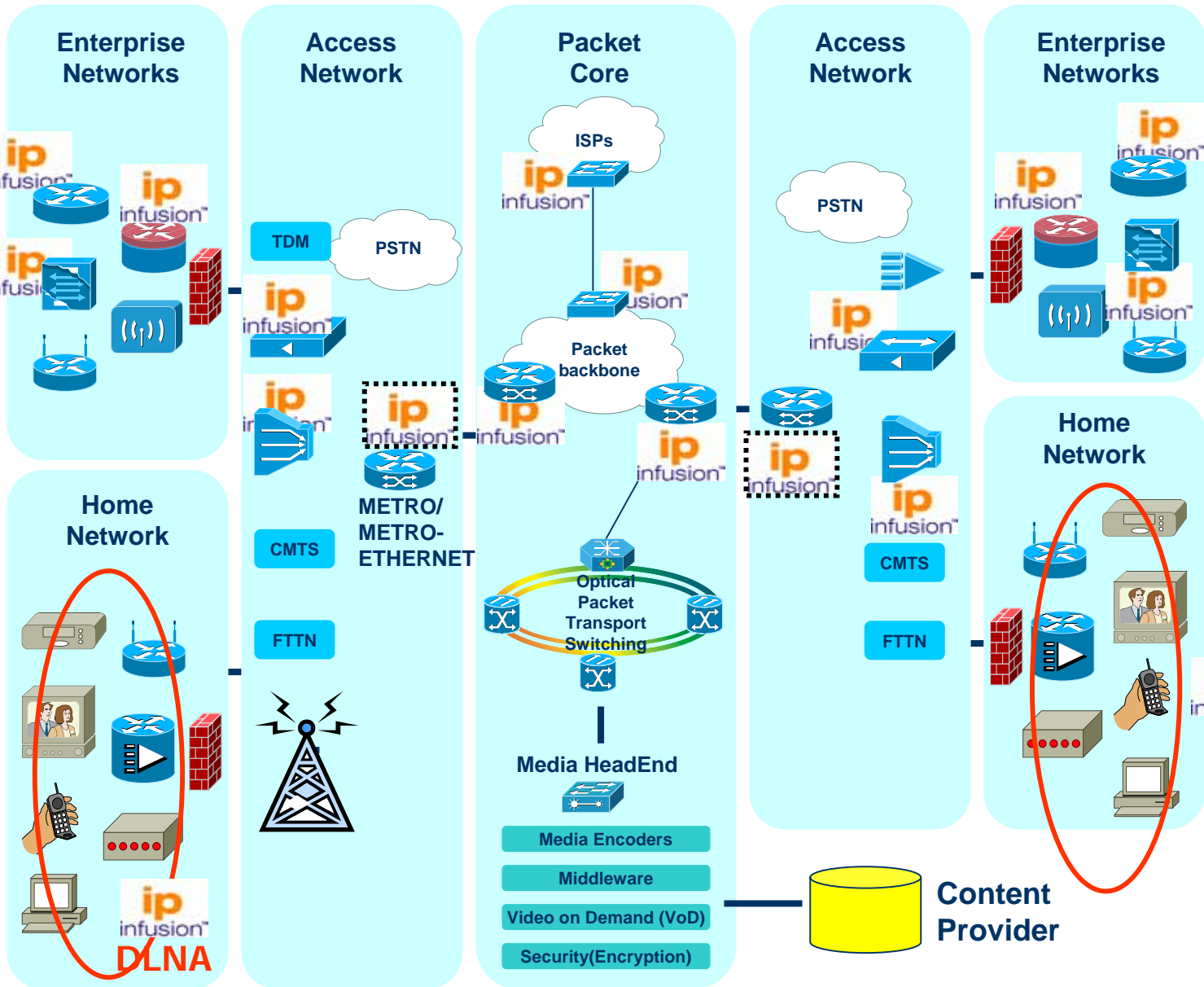
Mobile Linux Platform のある程度の統一

ACCESSは、これらの団体と協力して、Linux 標準化を様々な形でリードして行きます。

シームレスな個人情報空間を提供する

モバイル端末と家庭を結び付けて、シームレスな個人情報空間を実現する。





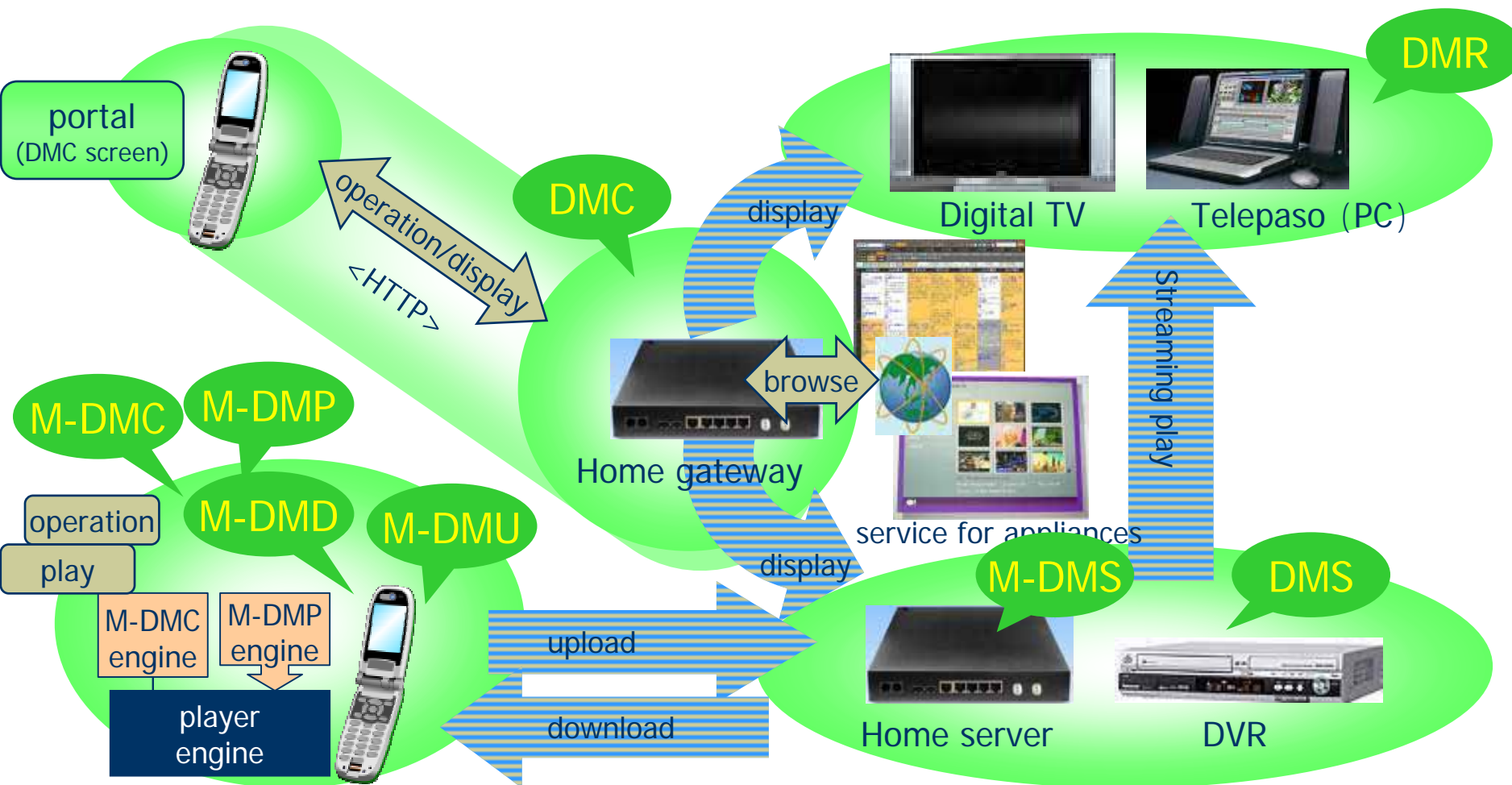
IP Infusion
のネットワーク
ソフト

L2 switching
L3 routing
IPv6
Multicast
MPLS

...

ip
infusion[™]
DLNA

DLNAは、家庭内のAV機器、PC、モバイル機器を連携させるプロトコル。ネットワーク(有線・無線LAN, Bluetooth)に接続するだけで、画像、音楽、ビデオを、コンテンツがどこにあっても、楽しめるようになる。



今後予測されるインフラの変化と当社の役割



携帯インフラ	i-mode	3G(FOMA)	海外3G	中国3G	3.5G(HSDPA)	4G?
放送インフラ		地デジ	1セグ/3セグ	サーバ型	all	デジタル放送
固定インフラ		プロードバンド普及加速	光回線1000万	IP放送	NGN	光3000万回線
ACCESS	NF1	NF2	NF3	NF3.4	NMCS	NMCS3.4
					ALP	

携帯もテレビもすべてソフトウェアで実現できるようになる。

- VoIPも含めた携帯トータルソリューション
- codecも含めたTVトータルソリューション

当社の役割

インフラの進化、ハードウェアの進化を先取りして、先進技術を開発

- SIP拡張
- DRM関連
- セキュリティ
- DLNA 2.0
- などに注目
- ソフトと端末アンバンドル
- 分散型協調モデル
- Advanced UI
- new codec
- Mobile Digital Living 強化
- などなど